

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	国際連合人道問題調整部(UNOCHA)拠出金 (任意拠出金)		<b>担当部局庁</b>	国際協力局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和53年度開始		<b>担当課室</b>	緊急・人道支援課		課長 青木 豊		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第3項		<b>関係する計画、通知等</b>	第52回国際連合総会決議52/168(1997年)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国連人道問題調整部(UNOCHA)は、国際機関等による人道支援活動の総合調整を行っている。我が国は、国連等の各種人道支援機関を通じた人道支援外交を重視していることから、本件拠出によりUNOCHAによる種々の機関間の総合調整機能の支援することにより、より効果的な人道支援の実現に貢献する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	UNOCHAは、世界各地において大規模な自然災害や紛争が発生した際、各種緊急人道支援機関が、活動の偏りを避けつつ、各機関の専門知識等を効果的に活用して活動できるよう調整を行っている。また、現地事務所において、各国際機関が活動する際の安全対策、国際機関を代表しての支援対象国政府・反政府との支援活動に関する交渉、ハザードマップの作成、統一アピールの作成等の人道支援を行う際の基礎となる活動を行っている。さらに、自然災害及び紛争が発生した際、関連情報を24時間休みなくインターネット上で迅速に配信するリリーフウェブを実施している。我が国拠出は、これらOCHAの活動を支援するものである。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	281	256	234	199	199	
		補正予算	—	206	235	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	281	462	469	199	199	
	執行額	281	462	469				
執行率(%)	100%	100%	100%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	人道支援の効果的・効率的な実施の実現 (OCHAアピールへの各国拠出)		成果実績	百万ドル	5,114	6,941	7,195	
	(注) 機関全体の目標及び実績		達成度	%	72%	71%	64%	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	① 国際社会への支援アピール発出 ② クラスタアプローチ導入国 ③ 支援国数		活動実績 (当初見込み)	①件 ②国 ③国	① 46 ② 12 ③ 55	① 23 ② 7 ③ -	① 29 ② - ③ 52	— ( )
	(注) 機関全体の指標及び実績							
<b>単位当たり コスト</b>	約13,000円/人		算出根拠	2010年の総事業費(85億円)÷裨益者(5千万人)=13,000円				
<b>平成23・24年度 予算内訳 (単位:千円)</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国際連合人道問題調整部(UNOCHA)拠出金	199,284	199,284					
	計	199,284	199,284					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ドナー・サポート・グループ会合等の場を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			